



二種混合（ジフテリア・破傷風） 予防接種について

(DT-toxoid double vaccine)

「ジフテリア」は、高熱と犬の遠吠えのようなせきが特徴です。重症になると心筋障害や窒息を起こします。
「破傷風」は、傷口から感染し、菌の出す毒素が筋肉の硬直や呼吸マヒを起こすため、命にかかわる病気です。

予防接種には、ジフテリアと破傷風の二種混合（DT）ワクチンを用います。

二種混合（ジフテリア・破傷風）予防接種は、乳幼児期に受けた四種（三種）混合予防接種で基礎免疫をつけた後、その2期として行うものです。

●接種対象年齢、接種スケジュールについて

11歳から13歳未満（13歳誕生日の前日まで）

【標準的な（おすすめの）接種年齢】：11歳以上12歳未満

※13歳になると、任意接種（全額自己負担）となります。

◎予防接種を受けることができない人

- ①明らかな発熱（通常 37.5℃以上）をしている人
- ②重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
- ③当該疾病に係る予防接種の成分によって、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④その他、医師が不適当な状態と判断した人

◎予防接種による健康被害救済制度

この予防接種による万が一の健康被害発生時には、予防接種法による給付を受けることができます。

異なるワクチンの接種間隔について

「異なる種類の注射生ワクチン（BCG・MR・水痘など）どうしの接種間隔は27日以上の間隔をあけること」以外の制限はございません。

ただし、同一の種類のワクチンの接種間隔（例：ロタウイルスワクチンの1回目と2回目は27日以上あける）については規定がございますので、ご注意ください。

この予防接種は防衛省からの交付金を使って実施しています。